

<知床カーフリープロジェクト知床2022事業>

目的

知床の公園利用の課題である道路沿線で頻繁に発生するヒグマとの軋轢を解消すると同時に、野生動物観光の確立を目ざすものであり、環境保全と誘客効果が期待できる。また、渋滞や混雑等のオーバーツーリズム対策やシャトルバスへの乗り換えによる脱炭素化にも貢献し、サステナブルな観光地としてのブランディングにも寄与する。

事業内容

①ナショナルパークシャトル運行と利用促進

- ・実施日: 8月6日～8月15日(10日間)、9月30日～10月2日(3日間)
- ・運行期間:
 - (8月)〈主線〉知床五湖～カムイワッカ
 - (10月)〈主線〉道の駅うとろ～知床自然センター～知床五湖～カムイワッカ
〈枝線〉知床自然センター～岩尾別
- ・マイカー規制区間: (8月)知床五湖～カムイワッカ
(10月)道道知床公園線 国道334号交点ゲート～カムイワッカ
- ・取組み:
 - 知床五湖駐車場渋滞の解消に向けたバス運行
 - 岩尾別枝線の課題解消に向けた試行(登山口路上駐車問題、登山者バス需要への対応、等)
 - 乗換率の向上に向けた仕組みの開発
 - ウトロ地区との連携(駐車場渋滞やバス運行情報提供システムの構築等)

②利用状況・利用者意識調査

- 既存課題の解決状況(渋滞状況、野生動物との軋轢等)、利用者満足度

③サステナブルツーリズムを推進する仕組みづくり

- 情報媒体や情報提供体制の構築
- アドベンチャーツーリズム試行事業と連携した適正な利用の構築

事業スキーム

〈主体〉

知床国立公園カムイワッカ地区利用適正化対策協議会

- 事業構成団体: 一般財団法人自然公園財団知床支部、公益財団法人知床財団、知床温泉旅館協同組合、NPO法人知床斜里町観光協会、斜里バス株式会社、環境省釧路自然環境事務所、北海道オホーツク総合振興局環境生活課、北海道オホーツク総合振興局網走建設管理部、斜里町
- パートナー: 地元ガイド等

〈財源〉

- 環境省補助金

〈期間〉

- 8月6日～15日(10日間)、9月30日～10月2日(3日間)
- シャトルバス運行により、既存課題への効果と利用者への影響を調査する。
 - 実施内容の検証を基に、世界遺産に相応しい良質な自然体験を提供する手段として2次交通システムの継続的な実現に向けて次年度に向けた実施計画を作成する。

スケジュール

〈目標及び成果〉

- シャトルバス乗車実績 5,000人
- 実施期間中の道路沿線でのヒグマによる危険事例や不適切事例をゼロとする。
- マイカー規制実施に関して6割以上の賛意を得る。